

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

2019年度 事業報告

事業名	サブリ村野受付事業		事業担当	受付職員								
事業目的・趣旨	枚方市公共スポーツ施設及び文化施設の運営管理											
本年度テーマ	1. 利用者に対する安全配慮の取り組み：無事故日数の継続 2. 両施設の利用率向上 3. 受付専任管理者体制の再検討											
重点取り組み	上期			目標			下期			目標		
①日々運営管理	・毎月の運営管理			事故件数0			・毎月の運営管理			事故件数0		
②利用向上	・利用状況分析、所管部署との調整 ・18年度実績分析			毎月の集計及び スポーツ80%台維持			・改善策の試行 ・2019年度上半期分析			年間利用率 NPO5%アップ		
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日々管理/利用者対応	→											
月切り集計	→											
情報共有会議		5/28	6/25	7/23	8/27	9/24		11/26	12/24	1/28	2/25	3/24
職員研修(サブリ村野館内)					8/6 嘔吐物処理 8/29 不審者侵入	9/24 会計処理			12/13,20 SNS講座	1/24,31 SNS講座		

※毎月の施設利用状況は別紙にて管理

- 〔成果〕・NPOセンター 2018年 平均利用率 38% → 上期平均 42.1% (約4%UP)、 下期(2月まで) 平均 44.5% NPO5%UP達成見込
 ・スポーツセンター 上期平均 87.3% 、 下期(2月まで) 平均 86.6% 80%台維持達成見込
 ・情報共有会議の開催により職員が持っていた不安が解消されつつある。次年度は、毎月開催ではなく、提案事項ごとに実施する予定。
- 〔課題〕・備品の破損など、課題が積み残されている。
 ・災害の際のサブリ村野の対応、コロナなどの緊急事態の対応などの職員マニュアルが急がれる。

事業名	情報事業		事業担当	渡邊、重村、増田									
事業目的・趣旨	1. ホームページ・SNSの管理運営 2. 人材バンク(WE Bページ等)の運営 3. 情報紙(「ひらせんナビ」、広報紙「ひらんぼ」)等の発行 4. 情報収集と発信												
本年度テーマ	1. スタッフのスキルアップと、新たな人材の発掘 2. WE Bページなど、最新の情報を提供するための体制と、データ更新のマニュアル化												
重点取り組み	上期			目標	下期			目標					
①スタッフのスキルアップ	スタッフのための研修と講座を開催			講座等を通して、新たな人材も発掘	スタッフのための研修と講座を開催			講座等を通して、新たな人材も発掘					
②情報更新のマニュアル化	より早い情報更新のための各々のデータの共有と体制づくり			センター内の情報の見える化	より早い情報更新のための各々のデータの共有と体制づくり			センター内の情報の見える化					
2019年度計画													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ホームページ・Facebook、Instagram・Twitter	随時更新(HP12回更新、FB25回投稿、Insta19回投稿、Twitter3回発信・RT35回)												
ひらせんデータバンク													
登録団体ガイドブック									更新				
ボランティアだより	毎月配信(メール・FAX・郵送)												
スタッフのスキルアップ									12/13,20 SNS 講座	1/24,31 SNS 講座		ボランテ ィア講座	
広報紙「ひらんぼ」(季刊)	発行			発行			発行			発行			
情報紙「ひらせんナビ」(月刊)	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	

〔成果〕 インターンの学生がInstagramなど SNS を更新頻度をあげることで、フォロワーが増えた。

スタッフのスキルアップも含め、登録団体を対象に、Facebook と、Instagram の初心者講座と、フォローアップ講座を開催し、これからの広報の方法について確認できた。次年度もフォローアップしながら、活動の認知度アップやネットワークを広げていきたい。

〔課題〕 広報紙の原稿掲載する人が限られてきており、インターンの報告記事に頼る状態になってしまった。今後の広報紙の発行方法や内容について、検討したい。

SNS の講座を開催したものの、依然、操作できる人が限られているので、事業ごとに SNS の投稿などを利用できるように、センター内での研修も、引き続き行いたい。また、団体の要求にもこたえつつ、さまざまなスキルアップのセミナー・講座を開催していきたい。

事業名	学びの広場事業					事業担当	中村					
事業目的・趣旨	NPO活動を担う様々な人材（市民、市民活動団体、ボランティア、当センター職員など）の育成。											
本年度テーマ	伴走型支援に対応できる人材の育成・他中間支援との人材交流・情報交換											
重点取組み	上期				目標		下期				目標	
マネジメント講座	市民活動を始める市民等を対象に「NPOを学ぶ講座」を開催。				計1講座、受講者10人。		「NPOを学ぶ講座」のほか、市民活動団体向けの各種マネジメント講座を開催。				計5講座、受講者70人。	
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マネジメント講座	4/20 NPO基礎 16人参加				8/18 SDGs カードゲーム 16人参加				12/9 ネパール を考える 12/13,20 SNS講座	1/24,31 SNS講座		
初任者研修（今年度なし）				×								

【成果】・大きな流れとなっているSDGsに関する講座を開催することができた。

・団体からの要望で、Facebookと、InstagramのSNS講座を開催した。事前に希望を募ったので、全4回、平均10団体15人以上の参加があった。

【課題】・高齢化による解散が続く現状を解決するべく世代交代・事業継承ための講座を企画したが、ネガティブな表現がよくなかった。

事業名	交流促進事業		事業担当	津熊、中村								
事業目的・趣旨	1. 多様な主体（NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等）の交流機会の提供 → 行政とNPOの意見交換会・まちづくり井戸端会議 2. 多様な主体との協働事業の研修・研究 → 「協働に関する勉強会」 3. 多様な主体との協働事業の企画・調整 → プレーパーク											
本年度テーマ	1. 行政とNPOの意見交換会のフォローアップ 2. 「協働」に関する研究を行う 3. プレーパーク実行委員会の法人化											
重点取り組み	上期	目標	下期	目標								
「協働」に関する研修		参加者数 10 団体 研究会参加者 5人	勉強会の開催 1回 → 研究会へ移行									
事業化サポート	プレーパーク実行委員会拡大	参加団体 3 団体	プレーパーク実行委員会の法人化支援	年度内に法人化								
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
まちづくり井戸端会議	第二木曜 3人		第二木曜 4人	第二木曜 3人	第二木曜 3人	第二木曜 4人	第二木曜 6人	第二木曜 5人	第二木曜 2人	第二木曜 4人	第二木曜 4人	コロナ 対策で中止
行政とNPOの意見交換会		アンケート	打合せ		第1回					第3回→		
①みどりのプラットフォーム					第2回					防災		
②受動喫煙に関して										交流会へ		
「協働に関する勉強会」	学びへ											
事業創出サポート プレーパーク・たゆらぎ →相談「伴走支援へ」												

【成果】プレーパーク・・・「行政・企業・NPOの協働事例」として、国交省都市景観大賞景観まちづくり活動教育部門優秀賞に続き、大阪府・みどりのまちづくり大賞マネジメント部門/奨励賞を受賞。

【課題】コレクティブインパクトを生むためには、「地域の8割以上の人が必要と考えている課題に取り組む」という条件がある。ということは、行政が普及啓発したい（市民の理解を深める）事業は、協働のテーマには不向きなのではないだろうか。

事業名	防災災害支援事業		事業担当	渡邊、松元、重村								
事業目的・趣旨	防災に関する調査研究と成果の発信を行う。 防災に関する事業の企画・実施及び実施に伴う関係機関との連絡調整を行う。 東日本大震災の被災地などに対し、継続的な支援を行う。											
本年度テーマ	1. 防災・啓発活動に積極的に参加できる次世代を育成する。 2. 市の担当課との交流、情報交換を通じて、災害時におけるひらかた市民活動支援センターとしての体制・活動方針を考える。											
重点取り組み	上期	目標	下期	目標								
①次世代への防災啓発活動	小・中学生向け防災学校(防災講座)の実施	枚方の防災、まちづくりの新しい提案づくり	次年度に向けて、キッズ防災またはキッズボランティアの養成	日程と企画を調整する								
②交流会の定例化	防災に関して、NPO、市の担当課との交流会の実施	交流会のテーマを調整する	・防災に関して、NPO、市の担当課と交流会の実施	次年度の方向性を共有する								
③災害時における「ひらせん」の体制と活動方針	枚方市の災害時における「ひらせん」としての体制の確認	法人としての方針を確認	・枚方市の災害時における「ひらせん」の活動方針	法人としての方針を確認								
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災小学校 校区・自治会の防災訓練等		牧野校区	香里校区 こども会	牧野小 いきいき 広場	菅原小	津田南小 樟葉南校区 さだ東校区	桜丘北校区	川越校区 殿一校区			平野校区 津田校区	
防災学校・講座 (ひらせん主催)			ひらかた 防災学校									
自主研修・交流会										交流会		
被災地支援(物産販売)		とっておきの音楽祭				NPO フェスタ				天の川 とんど祭り		
ミーティング等	えんともミーティング：毎月第1(金)18:30～、防災小学校企画委員会：毎月第2(金)18:30～											

〔成果〕今年度は、2月に続いて、6月にも「ひらかた防災学校」を開催。大阪北部地震や、台風21号を振り返るイベントとして位置づけができた。

防災小学校事業も、小学校やこども会などの依頼が年々増え、上期にも活動することが多くなった。

〔課題〕事務所の拠点となっているサプリ村野の防災体制と併せて、災害時の当法人の体制、活動方針について取り組む必要がある。今後、枚方市と協議しながら検討していきたい。

各地域の防災小学校の事業の依頼内容が、年々細かく、企画委員の団体が対応できないケースが増えており、出番が少なくなっている。今後は、細かい依頼に対して、企画委員会で検討し、一緒に取り組むように進められれば。。。

事業名	市民活動への若者参画推進事業		事業担当	松元、中野、姉崎、重村								
事業目的・趣旨	中学生・高校生・大学生の市民活動に対する関心を喚起し、市民活動の担い手の育成を図る											
本年度テーマ	1. 中学生によるディスカッションの開催 2. 「中学生を支える側」のスタッフの関わり方を検討する											
重点取組み	上期			目標			下期			目標		
参加しやすいディスカッションの検討・実施	ファシリテーターが中学校に出向く出張型ディスカッションの企画			1校以上の申込			中学生を会場に集める 集合型ディスカッションの実施			参加校数：10校 参加者数：60人		
ディスカッション参加者からファシリテーターの育成	交流会の実施			同左			現中学3年生を対象にした交流会を企画する			同左		
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学生を対象としてディスカッション等の企画・実施	校長会 事業概要 作成	[出張型] 四中実施						[出張型] 楠葉西中 さだ中 実施			[集合型] 2/1 実施	
ファシリテーター研修	交流会 実施									研修会 実施		
スタッフ会議の開催	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施		

【成果】・初の試みとなった「出張型ディスカッション」を11月までに3校実施。合わせて木村圭氏による防災講演会を3回実施。延べ32人のファシリテーターが参加した。→ファシリテーターがクラス単位(35人程度)でのグループディスカッションを実施し、新たな経験・実績を得ることができた。

- ・4月に中学生ディスカッションに参加した新高校生と現ファシリテーターとの交流会を実施。
- ・集合型ディスカッションを2月に実施。10校54人の中学生の参加。ファシリテーター16人、仰星高校スタッフ7人が参加。初の私学、東海大仰星から中学生の参加と、仰星高校生の参加サポートがあり、今までのメンバーにも刺激になった。オリエンテーションで、「SDGs de 地方創生 カードゲーム」を実施し、防災以外で、より広く枚方市や自分のまちのことをディスカッションできた。

【次年度に向けて】・出張型ディスカッション、集合型ディスカッションを1回ずつ実施していきたい。

- ・中学生ディスカッションに参加した新高校生と現ファシリテーターとの交流会とファシリテーター研修を継続実施していく。
- ・事業の対象年齢を高校生、大学生に拡大し、市民活動への関心を喚起する事業を検討、実施していく。

事業名	相談・ネットワークルーム管理事業	事業担当	職員
事業目的・趣旨	NPOに関する総合情報センターとしての市民活動ネットワークルームを管理運営する。		
本年度テーマ	認定NPO・条例指定NPOに関する対応を強化していく。		
重点取り組み	上期	目標	下期
相談対応から伴走型支援へ	伴走支援の実践	法人化 1 ひらかたプレーパーク	クラウドファンディング (たゆらぎ・1/Fのゆらぎ)
			目標額達成 1件

2019年度計画

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談対応	随時											
伴走支援 ひらかたプレーパーク 実行委員会	第3土曜 第4土曜 講習(助)	刈払い機	救急救命	ネイチャー ゲーム	虫よけ	BBQ入門 助成金申請	ジビエ料理	ロハス出店	焼芋 2次審査	スター ドーム	コロナ中止 ピザ窯 づくり	他市見学
ショートステイ	第1金曜	○	○		物件 仮契約	動画作成 団体紹介	融資決定		助成金申請	クラウド 開始	ガラス工房 紹介	クラウド 達成
空き家(富山型デイ)	第2土曜											
ネットワークルーム管理												
枚方支援学校職業体験受入				高2 女子1人			高2・3 2人2日				高1 男子1人	

【成果】

- ・ひらかたプレーパーク実行委員会の法人化・・・会員10人が集まらず、今年度中の法人化は難しい状況。会費を払っても参画したい人を集める所からやり直し。
- ・たゆらぎ・・・クラウドファンディングは110%達成。2020年4月開業が決まる。法人格申請から約2年半続いた伴走支援は一旦終了。

事業名	フェスタ事業					事業担当	渡邊、中野					
事業目的・趣旨	イベントの主催及び実践による市民へのNPO活動の啓蒙と周知を図る。 実行委員会を運営することで登録団体の協働力を高める。											
本年度テーマ	1. 「ひらかた NPO フェスタ」の趣旨目的を再認識し、市民が集うイベントを行う。 2. 集客するための事前PRの強化と、当日来場者が楽しめるような工夫を各エリアごとに考えてもらう。 3. 「リユース食器」の使用する意義を再認識し、ごみの出ないイベントづくりを目指す。											
重点取り組み	上期				目標(基準)			下期			目標(基準)	
①市民への開催周知	・事前周知の広報強化				新たな広報手法			・フェスタ実施内容の集計			来場者数 5,000 人	
②参加団体数の勧誘	・実行委員会の活性化				登録団体参加 50 団体			・実行委員会の成果判断			報告書による評価	
③事務局業務	・目玉企画の立案と推進				センター企画実施			・センター企画を評価(手段の確立)				
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひらかた NPO フェスタ						9/8						
実行委員会の開催	○	○	○	○	○	○	報告					○
事務局の運営	→											
19年度推進						会場・日程 仮決め					素案検討	企画立案

〔成果〕・9/8に実施完了。来場者数 4000 人。出展団体数 46 団体。

- ・当日は 36 度の猛暑日で熱中症なども心配されたが、来場者・スタッフ共に事故や怪我等もなく無事に終えることができた。
- ・風船とバルーンアートのプレゼント企画はボランティアと複数の団体が担当し、クオリティも高く、お子様連れの来場者に大変喜ばれた。
- ・本年は大学生インターンを中心に、SNS を利用した広報活動と来場者アンケートの回収に力を入れて実施した、アンケートは 224 枚回収できた

〔課題〕・SNS を利用した広報活動に力を入れたが、集客への十分な効果を導くには至っていない。アンケート分析を参考に、来年度の広報活動や企画立案に活かしたい。

- ・2020 年度の開催日は 9/27 に決定。会場は今年と同じくニッパーク岡東中央、枚方市市民会館、市役所別館前等を予定。来年度は集客に向けての新しいテーマと目玉企画立案が必要になる。

事業名	サブリ村野学校事業					事業担当	中村、姉崎					
事業目的・趣旨	サブリ村野NPOセンターで講座を行う団体を募集。講座会場として一時利用室を無料で提供し、初心者向けの講座を数回行ってもらい、団体の会員増と活動の活性化を図る。これを継続することで、中期的にサブリ村野NPOセンターの利用率向上に繋げることを目的とする。											
本年度テーマ	当事業の4年目となる本年度は、今までの成果を分析し、仕組みの再検討する。											
重点取組み	上期			目標			下期			目標		
仕組みの構築	アンケート結果の分析						実施団体や受講者の意見を聞きながら、募集要項の見直し。					
講座の実施	募集要項を公開し講座実施団体を募集			月に1団体以上が講座を実施			引き続き講座実施団体を募集。実施団体の意見や受講者のニーズを分析し、来年度の事業作りに活かす			月に1団体以上が講座を実施		
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート結果の分析								○	→			
仕組み改善									検討	→		来年度 要項作成
講座実施団体募集												→
講座実施	8講座	2講座	7講座	5講座	5講座	2講座	7講座	3講座	10講座	0	3講座	8講座 →中止

【成果】講座数に関しては、目標を大きく上回る成果をあげた。

サブリ村野学校開催をきっかけに、当センターの登録団体も増えた。

【課題】サブリ村野の利用率アップに関しても少なからず貢献できた（利用率対前年度比4%up）ため、今後は、NPOサポート事業の一環として継続していきたい。アンケートの分析を行ったが、カルチャー教室のような内容の講座希望が多く、当センター本来の理念や目的に沿った、団体支援をしていけるような講座ができるように企画を目指したい。

コロナ対策で、3月の予定が中止となったため、団体の希望があれば、5月以降に開催予定していく関係で、上期は2019年度の方針で実施するが、下期以降に、次年度を見据えて、新たな方向性で、サブリ村野学校の実施を検討したい。

事業名	留守家庭児童会室市民参画事業					事業担当	津熊、中村					
事業目的・趣旨	留守家庭児童会室の児童を対象に行事を実施するにあたり、子育てに関心を持つ地域の人材に参画を求めることにより、地域の子育て力を向上させることを目的とする。 市民が関わってもらいやすい留守家庭児童会室の行事の企画・運営を行う事業として実施する。 ひらかた市民活動支援センター登録団体がイベントを企画・実施し、団体のPRとともに、活動の幅を広げる一助とする。											
本年度テーマ	1. 新しい参加団体の開拓（プログラムを人材バンクで公開） → 5団体が新たに参画 2. 参加団体が他の団体のプログラムを知る機会の提供 → 来年度に持ち越し 3. 多人数（100人超）や熱中症対策に関して検討する。 → 2部制の導入により、冷房設備のある場所での開催が増え事故はなかった。											
重点取り組み	上期			目標			下期			目標		
①実施団体内の情報共有	・説明会等で注意喚起			代表等以下メンバー全員に、注意事項がいきわたるようにする。								
②当センターボランティアスタッフの情報共有	・スタッフ説明会の開催			活動内容など、全員で共有できる場をつくる。								
③実施団体の増加	・エントリー団体一覧のわかりやすい提案			エントリーした全団体が、1箇所でも実施できるように配慮する。								
④反省会の実施	・実施終了後、報告反省会を開催（団体、スタッフ）			次年度への改善のため、意見・感想を共有できる場をつくる。								
2019年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加団体		募集説明会	実施決定	実施		反省会						
市の担当課、児童会室	打合せ		児童会室希望集約									
当センター	打合せ		ボランティア募集	実施見守り確認 7/21～8/25		反省会						

【成果】・2部制という新たな試みが2か所で開催できた。

・新たな参画団体が5団体増えた。

【課題】・参加団体に均等に参加の機会があるように調整してきたため、人気プログラムに対する要望に応じて欲しいという要望に応えられていない。

事業名	自主事業					事業担当	運営委員・職員					
事業目的・趣旨	センターが目指すべきミッションの達成に必要な事業。および自主財源の確保に必要な事業。											
本年度テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 NPO サポートファンド事業 → 「北摂ファンド」への参加も含めて検討していく。 ・フェスティバル協議会 → 今年も枚方まつりには副実施委員長として参画しなかった。 ・若者引きこもりネットワークへの参画 ・中間支援ネットワークへの参画（関西支援センターネットワーク・北摂支援センターネットワーク） → KNN 再稼働 ・助成金事業（プレーパーク、花博記念協会助成） → 花博記念協会助成申請、2020 年度は支援団体で直接申請、採択。 											
重点取り組み	上期				目標	下期				目標		
地域貢献 NPO サポート ファンド事業	今年度、助成・補助事業を実施するか否かの検討					若者引きこもりネットワーク参画の今後を検討						
2019 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域貢献 NPO サポート ファンド事業実施の検討												
フェスティバル協議会 (枚方まつり)	4/4 第2回 運営委員会	5/9 第3回 運営委員会	6/6 第4回 運営委員会	7/4 第5回 運営委員会	8/6 第6回 運営委員会	9/5 第7回 運営委員会	10/3 第8回 運営委員会	11/7 第9回 運営委員会	12/5 事業報告 会		2/6 定時総会	3/5 第1回 運営委員会 →中止
コミュニティ備品管理												→
講師派遣				1 件		1 件	1 件	1 件				
若者引きこもりネットワーク			6/20		8/22		10/17		12/19		2/20	
中間支援ネットワーク参加				7/30		9/30 説明会		11/29 自主ゼミ	→			3/10 Zoom 会議
法人管理（理事会・総会） 運営委員会 月 1 回		5/26 理事会 総会			8/12 理事会			11/22 理事会				3/26 理事会

・くずはロータリーボランティア表彰 2020 年から 2025 年も継続することになる。→ 団体推薦

第18期貸借対照表

令和2年3月31日現在
 特定非営利活動法人
 ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	21,302,574	未払金	3,959,800
貯蔵品	169,812	前受金	202,500
未収入金	5,841,520	預り金	15,050
前払金	322,520	仮受金	316,900
仮払金	7,308	未払法人税等	419,000
		未払消費税等	850,900
流動資産合計	27,643,734	流動負債合計	5,764,150
2 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品	206,644	前期繰越正味財産	20,507,635
		当期正味財産増加額	1,578,593
		正味財産合計	22,086,228
固定資産合計	206,644		
資産合計	27,850,378	負債及び正味財産合計	27,850,378

第18期 活動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	差異 ②-①	備考
I 経常収益				
1 受取会費	400,000	325,000	-75,000	
2 受取寄附金	50,000	123,427	73,427	
3 事業収益				
受託金事業収益	34,355,139	34,159,298	-195,841	
事業収益	320,000	1,056,895	736,895	防災・講座・機器利用料他
販売収益	180,000	82,600	-97,400	防災
4 補助金収益				
枚方市補助金収益	1,738,000	1,738,000	0	NPO情報発信イベント事業
5 助成金収益	500,000	500,000	0	
6 その他収益				
受取利息	300	125	-175	枚方信用金庫他
雑収入	0	0	0	
経常収益計	37,543,439	37,985,345	441,906	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	24,900,839	23,176,003	-1,724,836	
法定福利費	2,500,000	1,943,969	-556,031	
福利厚生費	252,000	202,832	-49,168	中退共他
人件費計	27,652,839	25,322,804	-2,330,035	
(2) その他経費				
仕入高	180,000	106,357	-73,643	
広報費	72,000	149,417	77,417	
旅費交通費	708,800	598,097	-110,703	
通信運搬費	240,000	225,526	-14,474	
消耗品費	947,800	1,382,121	434,321	
事務用品費	740,000	2,071,427	1,331,427	
賃借料	435,000	376,994	-58,006	
修繕費	20,000	32,400	12,400	
保険料	63,000	114,086	51,086	
支払手数料	9,000	5,726	-3,274	
図書費	20,000	38,390	18,390	
会議費	140,000	330,289	190,289	
外注費	1,997,000	1,551,301	-445,699	
その他経費計	5,572,600	6,982,131	1,409,531	
事業費計	33,225,439	32,304,935	-920,504	
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	1,460,000	1,227,090	-232,910	
福利厚生費	28,000	0	-28,000	
人件費計	1,488,000	1,227,090	-260,910	
(2) その他経費				
旅費交通費	13,000	9,480	-3,520	
通信運搬費	60,000	83,538	23,538	
租税公課	45,000	40,000	-5,000	
消耗品費	50,000	35,984	-14,016	
賃借料	260,000	15,590	-244,410	
支払手数料	1,000	948	-52	
減価償却費	80,000	88,560	8,560	
会議費	41,000	37,158	-3,842	
慶弔費	20,000	40,800	20,800	
雑費	560,000	565,511	5,511	
法人税等	200,000	419,000	219,000	法人税等
消費税等	1,500,000	1,516,900	16,900	消費税等
ふれあいファンド	299,000	0	-299,000	
社会企業家	121,000	0	-121,000	
エコポイント寄付	40,000	21,258	-18,742	フェスタ、防災学校、消耗品
その他経費計	3,290,000	2,874,727	-415,273	
管理費計	4,778,000	4,101,817	-676,183	
経常費用計	38,003,439	36,406,752	-1,596,687	
当期正味財産増減額	-460,000	1,578,593	2,038,593	
前期繰越正味財産額	20,507,635	20,507,635	0	
次期繰越正味財産額	20,047,635	22,086,228	2,038,593	

財務諸表の注記

- 1 重要な会計方針
 - (1) 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 - (2) 固定資産
 - ① 計上基準
30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。
 - ② 減価償却の方法
定額法により減価償却を実施しています。
 - (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。
- 2 減価償却累計額 1,679,654円
- 3 保証債務、担保提供資産はありません。

第18期 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
	現金手許有高	428,132
	普通預金枚方信用金庫本店営業部	13,961,621
	普通預金枚方信用金庫星ヶ丘支店	103,409
	普通貯金星ヶ丘郵便局	196,487
	郵便振替	1,406,088
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (エコポイント用)	965,004
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (ふれあいファントム用)	683,282
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (社会企業家用)	533,320
	定期預金枚方信用金庫本店営業部	3,025,231
未収入金		
	NPOサポート事業	1,605,625
	サプリ村野受付業務	3,547,500
	財)国際花と緑の博覧会記念協会 助成金	250,000
	ひらかたプレーパーク実行委員会 年間経費	438,395
貯蔵品		
	日中貿易 マスコット 636個	169,812
前払金		
	(株)ユニバーサルシステム 年間WEB管理用	322,520
仮払金		
	切手買置き分	7,308
	流動資産合計	27,643,734
2 固定資産		
什器備品		
	折紙機 デュプロフォルダー	206,640
	カラーロール印刷機	1
	デスクトップパソコン	1
	ムラノ 紙折機	1
	きぐるみ	1
	固定資産合計	206,644
資産合計		27,850,378
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
	3月分人件費	1,832,334
	3月分社会保険料	100,718
	(株)ユニバーサルシステム パソコン他	1,631,695
	3月分経費	395,053
未払消費税等		
	確定消費税	850,900
未払法人税等		
	確定法人税等	419,000
預り金		
	源泉所得税	15,050
前受金		
	第19期会費収益	202,500
仮受金		
	市民活動課 窓口還付用	228,900
	スポーツ振興課 窓口還付用	88,000
	流動負債合計	5,764,150
負債合計		5,764,150
正味財産		22,086,228